

新社会党の機関紙  
週刊新社会 水曜日発行  
月ぎめ700円  
読んでください  
☎078-361-3613

県内情報満載  
新社会兵庫 月2回刊  
月ぎめ400円  
新社会党兵庫県本部  
fax078-361-3614

# おはよう新社会党です

No. 1321  
2025年  
11月13日

発行・新社会党灘総支部  
神戸市灘区天城通3-5-19  
電話 078-801-6530  
Fax 078-801-6708  
nsp-nada@vega.ocn.ne.jp  
http://www.nsp-nada.sakura.ne.jp/

## 原野さん （高校生と大使） ビリヨクでも自分なりの核廃絶を

憲法を生かす会・灘は11月3日、灘区文化センターで総会を開きました。生かす会・灘のスタートは2001年ですが、トランプや高市政権の発足で改めて憲法を守り、暮らしに生かすために事務局体制の整理や活動方針を議論し、再スタートを切りました。

総会2部では記念講演として高校生平和大使の原野蓉子さんから「核兵器廃絶と被爆継承の取り組み」についてのお話がありました。

自らの苦しい体験を訴え続けたことがノーベル平和賞受賞につながりました。若い世代が継承することが高祖母たちの思いだと感じました。

### 高祖母・曾祖母の想いを受け止めて

原野さんは「私の高祖母は市川房江さんらと婦人参政権運動に関わり、戦後は代議士として平和教育などに尽力。曾祖母は疎開先から神戸に戻る際、原爆投下まもない広島に入市して被爆、3年後に子どもを白血病で亡くしています。

日本被団協が核兵器の使用禁止、廃絶を求めて



パワーポイントを駆使して話す原野さん

核廃絶は難しいが無関心が一番怖い  
平和大使として広島・長崎を訪れた。原爆は一瞬のうちに無差別にたくさんの方の命を奪ったのです。長崎市市長の力強い平和宣言を聞いて二度と原爆被害がないように後世に伝えなくて

阪神淡路大震災30年 神戸・東北・能登をつなぐ

能登の地酒販売

炭火焼さんま

神戸

- らくがき広場
- こども工作コーナー
- ストリートキッズステージ
- お薬相談

11月29日(土)  
11:00~15:00

※いずれも売り切れ次第終了  
※少雨決行

会場 青谷川街園  
水道筋ひたまり商店街

主催・問い合わせ先 ろっこう医療生活協同組合 078-802-3424 (平日9~17時)  
共催 水道筋ひたまり商店街  
後援 神戸市・大船渡市・神戸新聞社

はと強く思いました。トランプの核実験発言は大国の代表がすることではありません。

核兵器があつて平和が維持できるという『核抑止論』と核兵器が使用されたらどうなるか、科学的根拠に基づく『核廃絶論』がある。私には語られない複雑な問題があるが議論することが必要です。

この夏、国連欧州本部のあるジュネーブを訪問し、軍縮会議を傍聴したり、世界YWCA、日本

各国で真剣な議論、若者は関心を持って

日本政府は核兵器禁止条約を批准していませんが、日本政府の市川軍縮大使は核兵器保有国に対して被爆の実相を伝える努力をされていることを知りました。また、核廃絶のために若者に関心を持つてほしいという熱い思いを聞くことができました。」と話されました。

（記事は原野さんのお話の一部です）

なんでも相談ください  
新社会党 灘総支部  
078-801-6530  
サービス残業、パワハラ、職場のトラブル  
NPO 法人 働く人の相談室  
078-945-7703

憲法を生かす会・灘  
憲法を生かす会の結成への準備会は2001年12月、憲法サロンを重ね、2005年結成しました。  
憲法学習会、戦跡ウォーク、被爆・空襲体験を聞く会などを開催。そして11月3日(月・祝)には総会を開き、リスタート宣言をしました。

『おはよう新社会党です』 HEADLINE  
第1317号(9月25日、阪神大石駅) 都市公園内に大学は作れません  
第1318号(10月2日、JR六甲道駅) 着々と進む戦争準備に反対の声を  
第1319号(10月9日、阪急六甲駅) 再整備一旦中止を、市民が陳情  
第1320号(11月6日、JR六甲道) 奥能登、取り残された復興

おはよう川柳  
N党に連立する  
浅ましき  
デマをまき散らし百条委委員を攻撃して死に至らしめたN党立花。自民党は少数になり、数を欲しさにN党と会派を組む。立花逮捕で会派解消したが、正義という大義はないのか。

騙されない力を！  
昨年春の文書問題に始まり、波乱の兵庫県知事選から1年。斎藤知事はパワハラについては認めたものの犯人探し、問題点探しによる「公益通報者保護法」違反については認めていない。私たちはそのために尊い4人の命が奪われた事実を忘れてはならない。  
斎藤知事の早期の辞職を！真つ当な県政を！求めよう。同時に今、SNS等による誤情報に対して騙されない力を身につけては。

前市会議員  
こはやし みるみこ  
小林 みるみ子



## 奥能登、生活再建 復旧の道は遠い



地震から約2年、豪雨災害から1年経つが現在も多くの方が仮設住宅で暮らしています。前号に続き、9月の2日間、珠洲市の仮設住宅で健康運動の指導を行なったボランティアのKさん(六甲町)の報告です。

9月18日、能登空港から奥能登の珠洲市北端の緑剛崎灯台がある狼煙(のろし)町にあるするゲストハウスに向かった(ここがKさんの活動拠点になる)。

1時間余りの道のりだったが、現在も未だ十分復旧しておらず、傾いたままの電柱も多く、橋の近くでは車が大きく揺れ、時折見かける工事車両の周辺は崩れた赤土の土砂に覆われていて徐行しなければ怖くて進めない。狼煙(のろし)海岸への峠の曲がりくねった道には、陥没注意喚起を知らせるコーンや片側交互通行の信号機があちこちにある。夕方の5時半を過ぎると暗くなってくる。この曲がりくねって崩れかけた山道は慣れた住民でも日が暮れたら危険極まりないだろう。

昨年の地震や豪雨で道路やトンネルが損壊。数か月間、工事車両が入れず、消防、救急、警察車両、水道、電気復旧関係の車両などが、助けを求めていた住民の元に行けなかった。

救出・救援の遅れによる400人超の関連死を防げなかった大きな原因の1つが、道路の復旧の遅れだったと言えるのではないか。復旧工事関連業者、特に道路工事復旧のための車両関連業者・作業員が「関西万博」でなく、能登に集中されていたならば、関連死を防げたのではないか。震災犠牲者680人のうちの400人超は「人災」死と言っても過言ではないだろうか。



土砂で塞がったトンネル

私たちは二度と戦争をしない! 平和でこそ文化は香り立つ!

10/20

## 祝園全国集会

京都府精華町

ほうその



**急速に広がる軍拡**  
沖縄本島をはじめ、与那国島・石垣島・宮古島から徳之島・奄美・馬毛島の琉球弧の島々に自衛隊の基地が作られ、ミサイル部隊が配置されている。

す。急速な軍拡は本土にも広がっています。  
**祝園にトマホーク**  
政府は全国で130棟の弾薬庫増設と熊本健軍分屯地に敵基地攻撃能力を持つ長距離ミサイル配備、佐世保と舞鶴にトマホークを配備しようとしています。  
京都府南部の精華町には戦前から弾薬庫がありました。  
その祝園(ほうその)弾薬庫では8月から国内最大の弾



弾薬庫の増設工事が始まっています。そこに100kmを飛ぶ長距離ミサイルの配備が懸念されています。  
防衛省は「抑止力・対処力の向上は国民の安心安全につながる」と言いますが、他国を武力で威嚇することは軍拡競争を際限なくエスカレートさせ、弾薬庫は攻撃目標にされ、かえって周辺住民が危険にさらされます。  
「武力で平和は守れない」これが歴史の教訓で

す。私たちは二度と戦争をしないと決めたはず。  
**祝園集会に2700人**  
10月20日、京都府精華町のけいはんな記念公園に沖縄、大分、熊本、愛知、神奈川から「軍拡・戦争」反対の活動を進める人たちが、近畿各地から2700人が参加し、戦争への道を押しとどめようという集会が開かれました。集会は各地の取り組みや闘いの報告をし、「私たちは二度と戦争を



パレード出発、後ろに長い列が続く

させない」という集会宣言を採択し、精華町をパレードしました。新社会党はこの集会の賛同団体として加わっています。